

2-2 交通施策等の体系化

2-2-1 『拠点のまちづくり』に関する交通施策等の体系化

(1) 基本方針とパッケージ名

地域特性に応じた 『拠点のまちづくり』を支える

日常生活を支える各拠点の特性に合わせ、地域の魅力を引き出すとともに、多様な商業・業務機能、行政機能などの各種都市サービス機能を支援するため、市民にとって暮らしやすく移動しやすい生活交通を目指し、公共交通が使いやすい環境の創出など安心・安全な交通環境の向上を図ります。

拠点まちづくり支援パッケージ

市民生活における交通の利便性向上のため、
生活拠点¹周辺における安心・安全な交通環境の向上を図ります。

(2) 実施目標、交通施策・事業例

■実施目標①

年間を通じて安心・安全な生活交通を形成するため、既存市街地内の道路を適切に整備・維持するとともに、歩道のバリアフリー化や自転車利用環境の整備を進めます。

■交通施策・事業例

- 歩道バリアフリー化の推進
- 総合的な駐輪対策の推進
(既存用地を活用した駐輪環境の整備、民間整備の制度検討など)
- 自転車走行空間の明確化
- 生活道路の整備
- 道路の効率的な維持管理の推進 (舗装・橋梁補修など)
- 篠路駅周辺地区の検討・整備
- 長期未着手の都市計画道路の見直し
- 重点的・効果的な除排雪の実施
(バスレーンや狭小バス路線の排雪強化)

¹通勤・通学・日用品の買い物など日常生活を送る上での主要な目的地となる場所のことであり、広域交流拠点、地域中心核を指しています。



自転車走行空間の明確化（盛岡市）



北大通（西1丁目）の駐輪場



橋梁補修

■実施目標②

自動車に頼らなくても移動に支障のない地域交通環境を創造するため、駅接続型の路線バスの維持を図るとともに、交通結節点の機能向上（乗り継ぎ円滑化、情報提供の充実等）を進めます。

■交通施策・事業例

- 地下鉄東豊線栄町駅交通広場の整備
- 苗穂駅周辺地区の検討・整備
- モビリティマネジメント²の推進
- バス路線の適切な維持
- 効率的で使いやすい地域公共交通ネットワークの構築



JR白石駅周辺地区整備（手前：自由通路、奥：橋上駅舎）

<関連計画など>

新・札幌市バリアフリー基本構想、札幌市都市計画道路の見直し方針、
札幌市自転車利用総合計画、道路維持管理基本方針、札幌市冬のみちづくりプラン

など

² 渋滞や環境、あるいは個人の健康等の問題に配慮して、過度に自動車に頼る状態から公共交通や自転車等を「かしこく」使う方向へと自発的に転換することを促し、一般の人々や様々な組織・地域を対象としたコミュニケーションを中心とした持続的な一連の取り組み。